E.F.S.F. MULTIPURPOSE LIGHT FIGHTER
FF-X7 CORE FIGHTER

【機体解説】 一年戦争中盤に於いて、地球連邦軍の難局を覆した傑作モビルスーツが"RX-78-2 ガンダム"である。この機体は、試作機として様々な特徴を備えていた。その最たるものが、"コア・ブロック・システム"である。これは、核融合ジェネレーターと機体操縦系統をブロック化し"コア・ブロック"と称したものであり、機体が戦闘により撃破される状況に於いても、記録された貴重な実戦データとパイロットを回収可能とした、いわゆる脱出カプセルなのである。

更に驚嘆すべきは、この"コア・ブロック"は、その形態を変化させ、航空機としての生還が期されていたのだ。この航空宇宙機形態は、"コア・ファイター"と呼ばれた。"地球連邦軍 多目的軽戦闘機 FF-X7 コア・ファイター"の誕生である。

コア・チェンジにより戦闘さえも可能な航空宇宙機となるコア・ファイターは、地球連邦軍がジオン公国に対して技術的遅れをとったモビルスーツ開発初期ならではの思想の産物であったと評価されている。しかし、コア・ファイターは、全長8.1m程度の小型機にそぐわぬジェネレーターを包含し、また、RX-78-2ガンダムとしての強靭な装甲を誇り、重戦闘機並みの行動が可能であった。コア・ブロック形態への移行を考慮しなければ、強行武装偵察など、モビルスーツよりもふさわしい任務が多く存在し、前線ではそれなりに重宝がられたようである。

実戦に最初に投入された機体は、"強襲揚陸艦ホワイトベース"搭載機である。ホワイトベースには、パーティングアウト用の機体も含め、多くのコア・ファイターが配備されていた。その運用は、右舷格納デッキに於いて行われ、ガンダムのパイロット、アムロ・レイ(曹長/少尉)は、"002(マルマルニ)号機"を駆り、コア・ファイターの高性能を実証した。

一年戦争末期、地球連邦軍の大反攻作戦が開始される。この時期のコア・ファイターは、大型ユニットを追加装備することで、インターセプターやサポーターとして、充分な攻撃能力を獲得し、主要な戦場に姿を現し始めていた。

第13独立戦隊として宇宙へ上がったホワイトベースも、コア・ファイター後部に大型ブースターユニットを結合した"FF-X7-Bst コア・ブースター"を配備し、対モビルスーツ戦闘能力を向上させている。"005"スレッガー・ロウ中尉機、"006"セイラ・マス少尉機の2機であった。コア・ファイターの操縦汎用性と余りあるジェネレーター出力の証左である。

なお、"RX-78-3 G-3ガンダム"用のコア・ファイター、アムロ・レイ少尉搭乗機が存在したとも語られているが、軍事機密のベールに包まれている。

制式名：FF-X7　　通　称：コア・ファイター
乗　員：1名
全　長：8.10m　全　幅：6.13m　全　高：3.39m
全備重量：8.90t
大気圏内最大速度：mach4.8
フレーム鋼材：ルナチタニウム
固定武装：25ミリ機関砲×4
空対空ミサイル：AIM-79 ×8（胴体内装式）
その他、翼下パイロンに、AIM-77D 空対空ミサイル ×2 などを装備可能

【軍装解説】

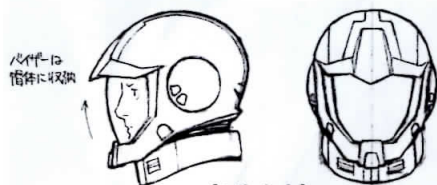
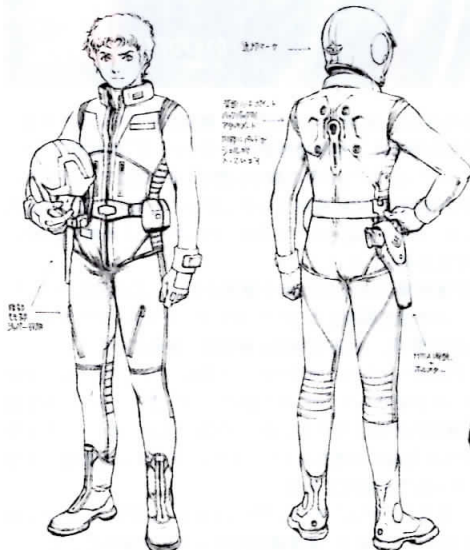
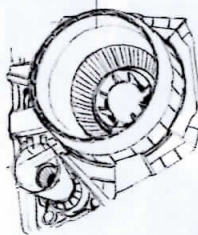
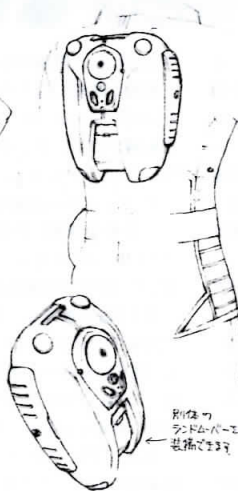
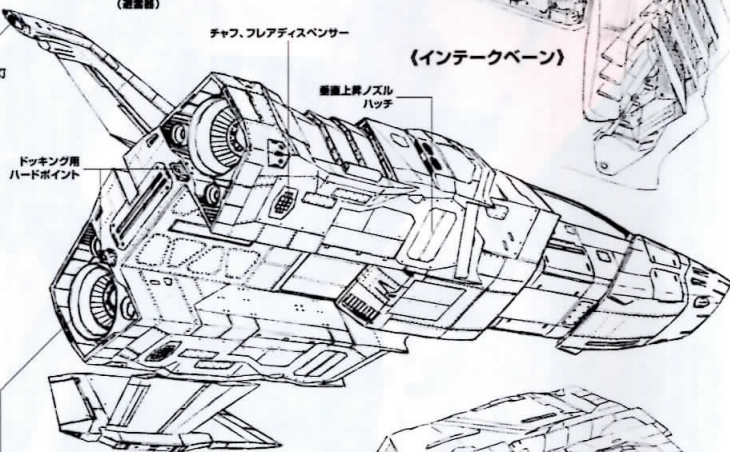
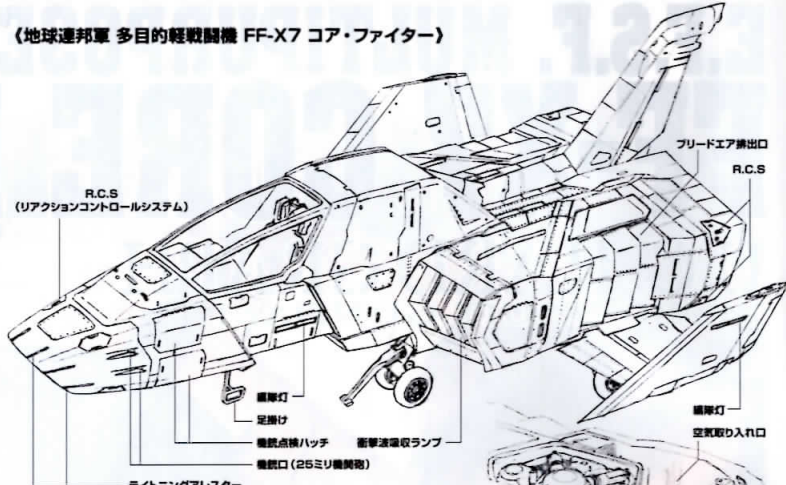
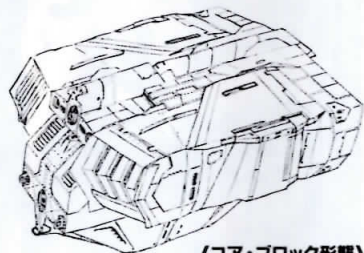
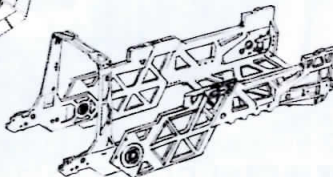
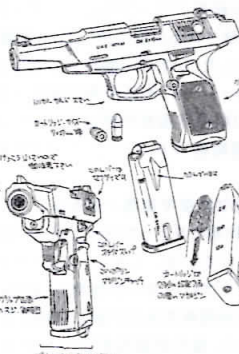
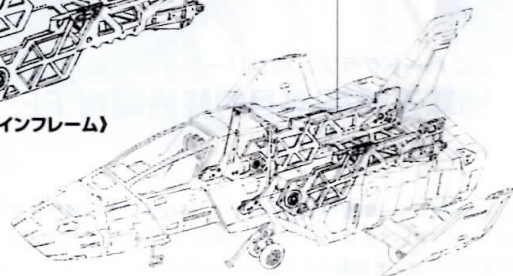
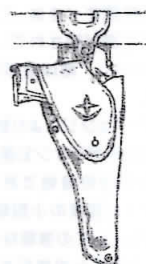
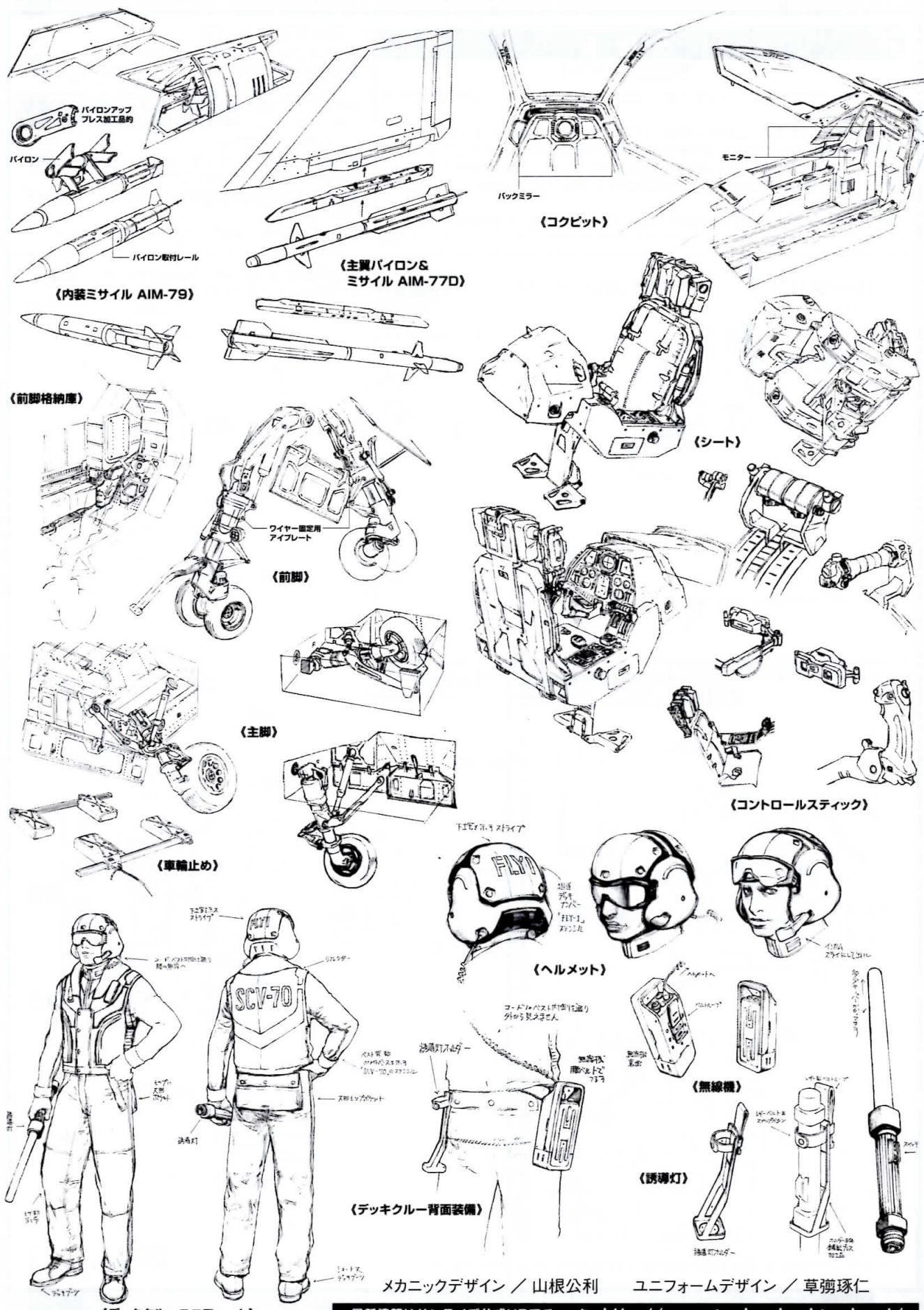
● パイロット用ノーマルスーツ

この時代、宇宙服は“ノーマルスーツ”と称された。MSパイロット用ユニフォームについても、無重力仕様のものが多く存在する。それらは軽装型であり体形にフィットして行動自在性が確保されていたが、宇宙放射線防護、耐G性にも優れていた。これらのことから、無重力仕様と分類されてはいたが、重力下でも問題なく使用可能であった。生命維持装置であるバックパックの着脱も容易である。

掲載のノーマルスーツは、“M-79A3NS MSパイロットユニフォーム”である。

● デッキクルーユニフォーム

掲載のものは、“エアクラフト・ディレクター”であり、機体の誘導を任務とした。重力下仕様の専門兵科用特殊被服“M-88 メカニックユニフォーム”を着用していることから、ホワイトベースが大気圏突入後、ジャブローへの道程を辿った時期に使用されていたことが分かる。

ホワイトベースには多くのデッキクルーが配置されており、モビルスーツ、コア・ファイター等の離発艦を支援した。彼らは、基本的に共通のユニフォームであったが、担当任務により色分けされ、分類化されていた。また、背面にはホワイトベースの艦番号“SCV-70”が表記されている。

メカニックデザイン ／ 山根公利　　ユニフォームデザイン ／ 草彅琢仁

⚠ 注 意

必ずお読みください

- ●この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- ●小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- ●誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ●ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- ●小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。
- ●接着剤は、閉め切った室内では使用しないでください。中毒になる危険があります。

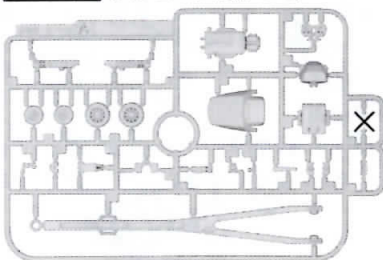
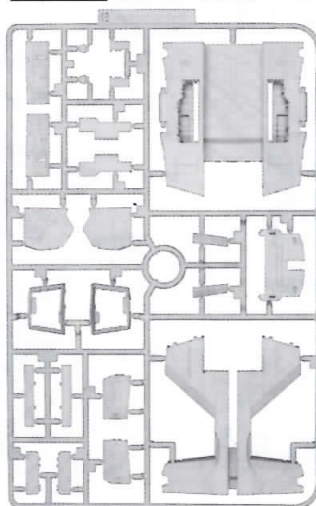
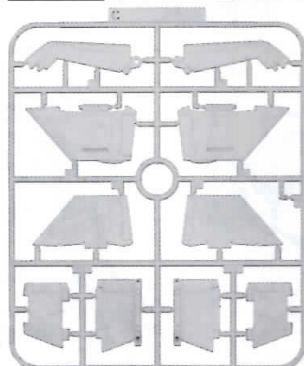
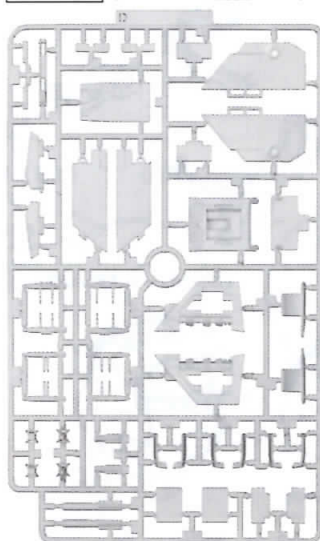
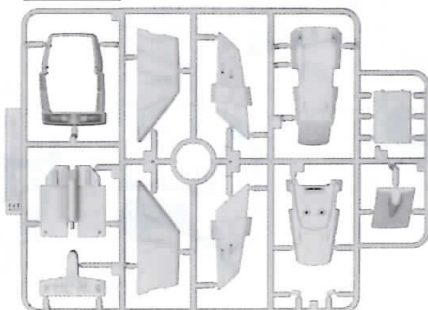
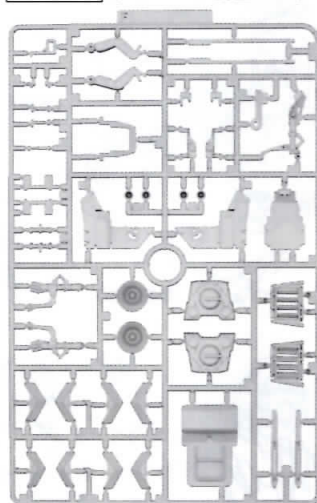
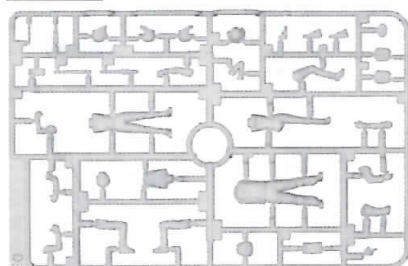
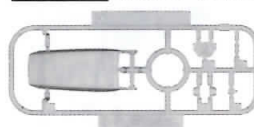
〈組み立てる時の注意〉

- ●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- ●部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- ●部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- ●部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- ●塗装の場合は使用する塗料の使用上の注意にしたがって行ってください。
- ●組み立ての一部に接着剤を使用する箇所があります。

パーツリスト

(✕印は使用しないパーツです。)

※細かいパーツは破損や紛失の恐れがあります。取扱いには十分注意してください。小さな部品を取り付ける際、ピンセット等を使用すると便利です。

Aパーツ (スチロール樹脂：PS)

Bパーツ (スチロール樹脂：PS)

Cパーツ (スチロール樹脂：PS)

Dパーツ (スチロール樹脂：PS)

Eパーツ (スチロール樹脂：PS)

Fパーツ (スチロール樹脂：PS)

Gパーツ (スチロール樹脂：PS)

Hパーツ (スチロール樹脂：PS)

- ●シール……………………1
- ●水転写デカール……1

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

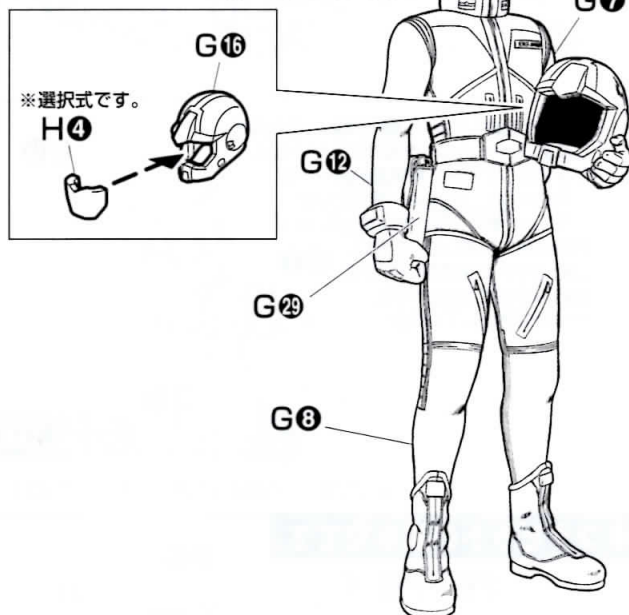
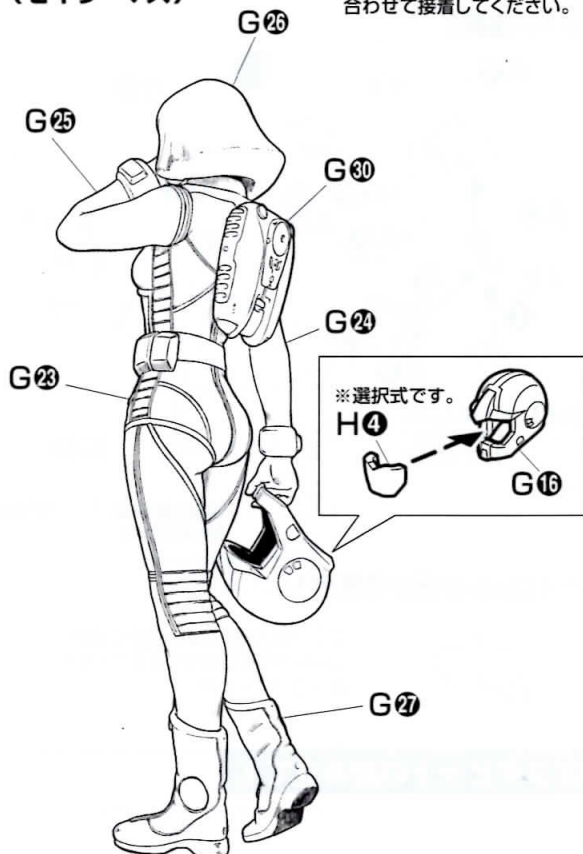
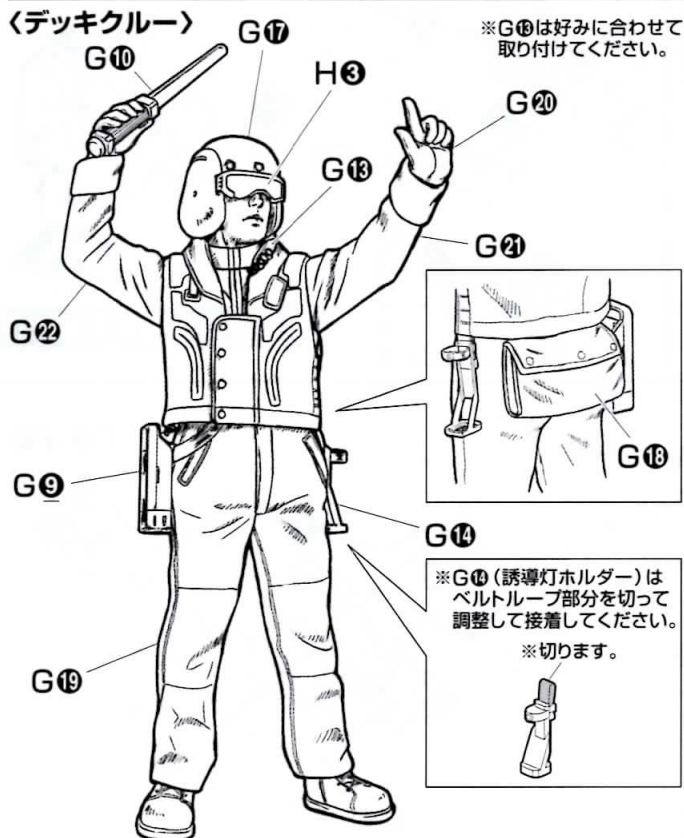
〈矢印について〉

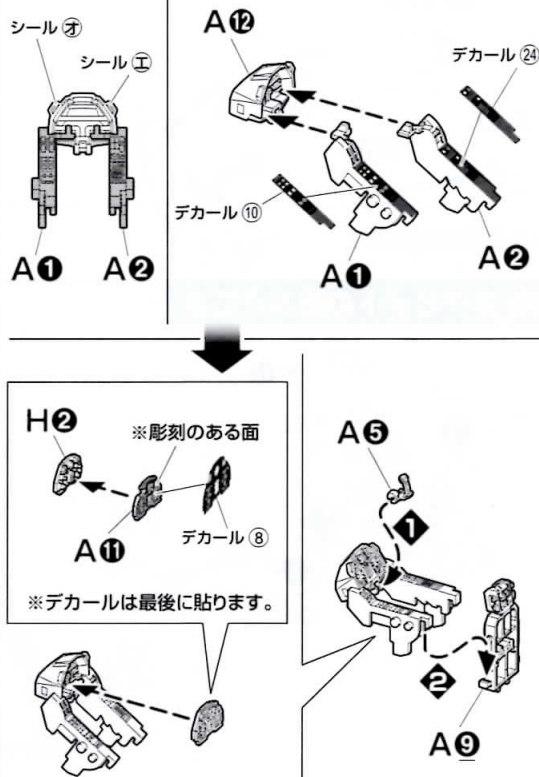
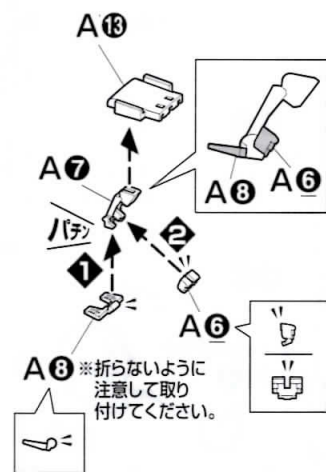
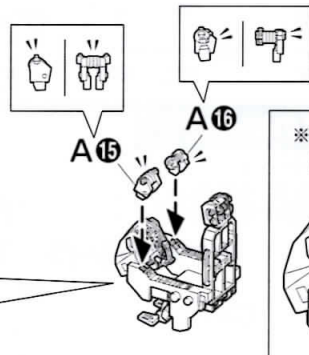
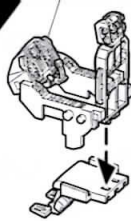
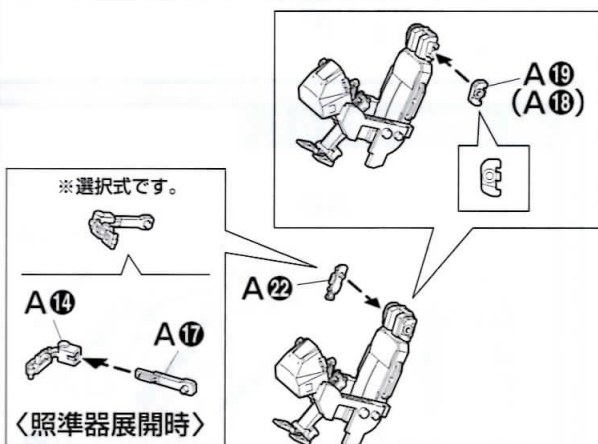
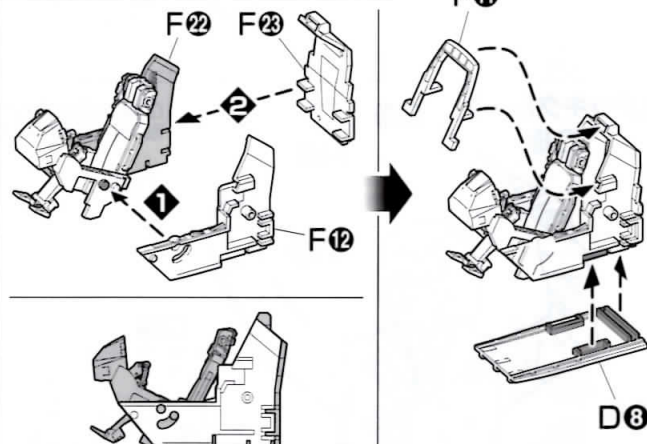
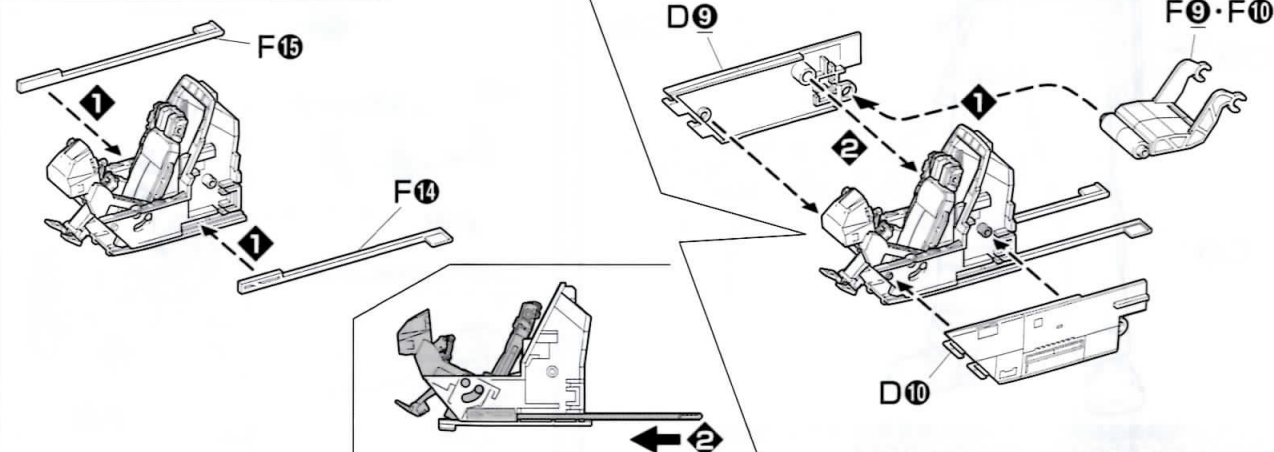
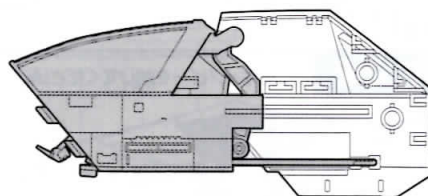
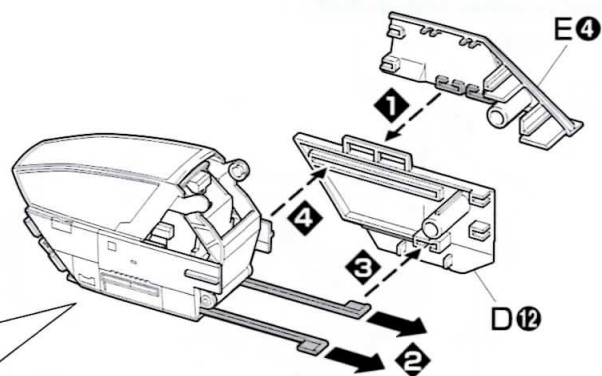
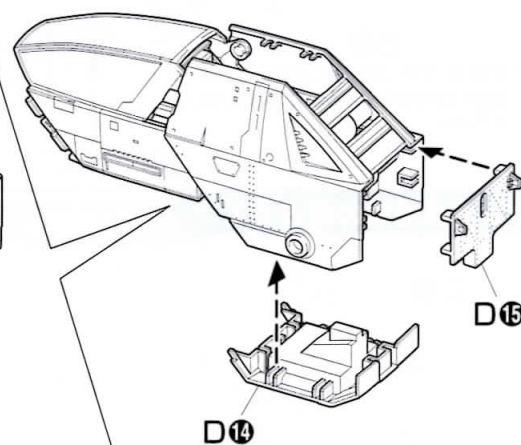
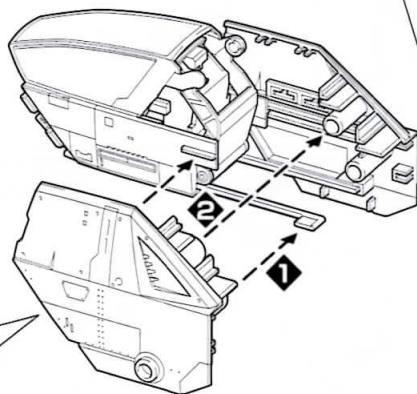
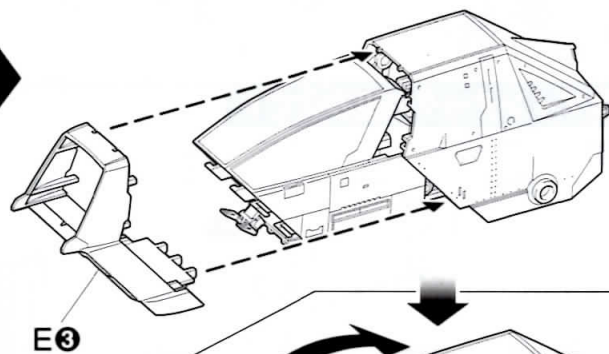
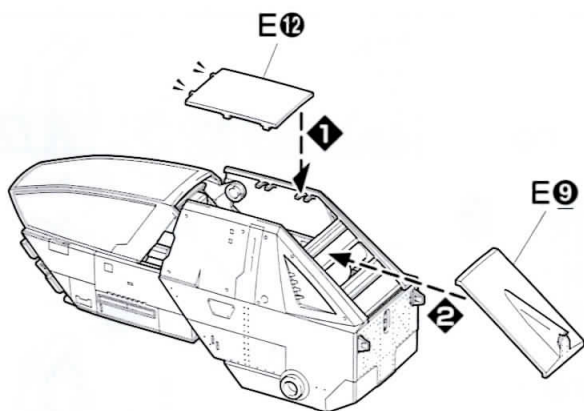
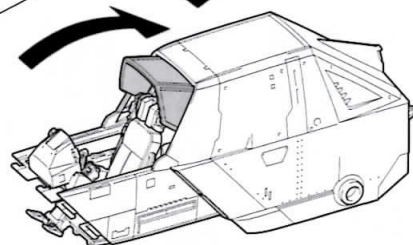
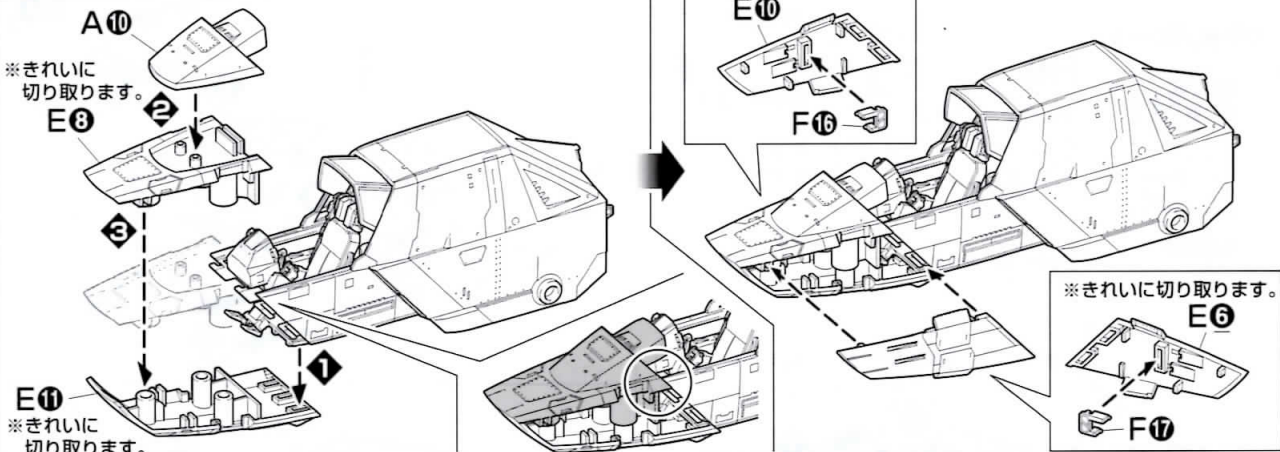
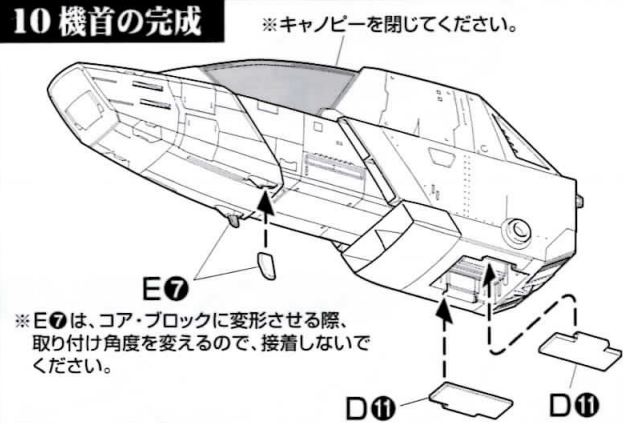
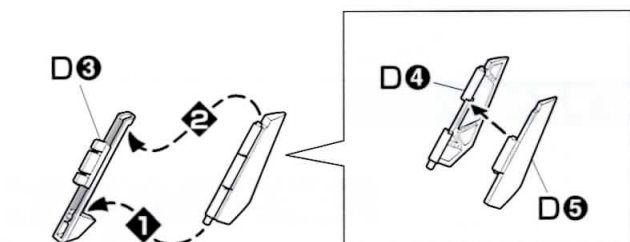
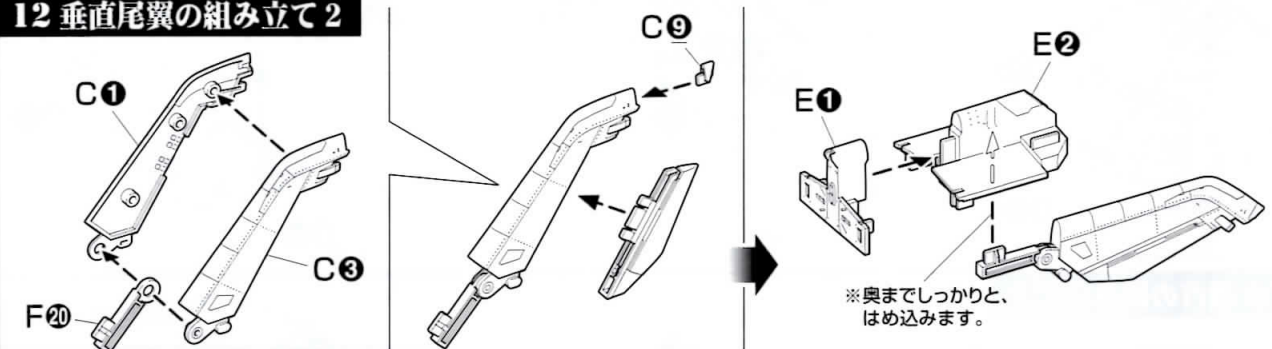
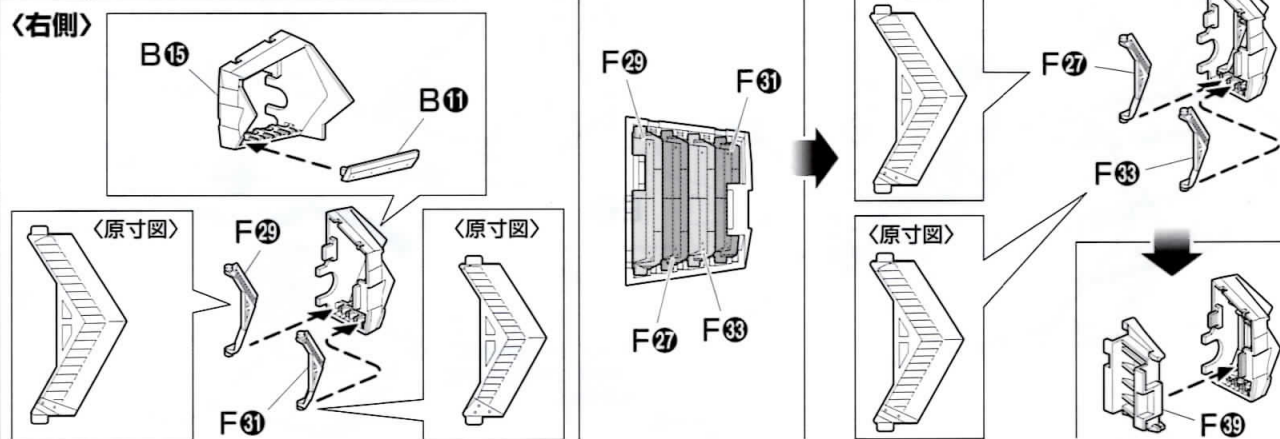
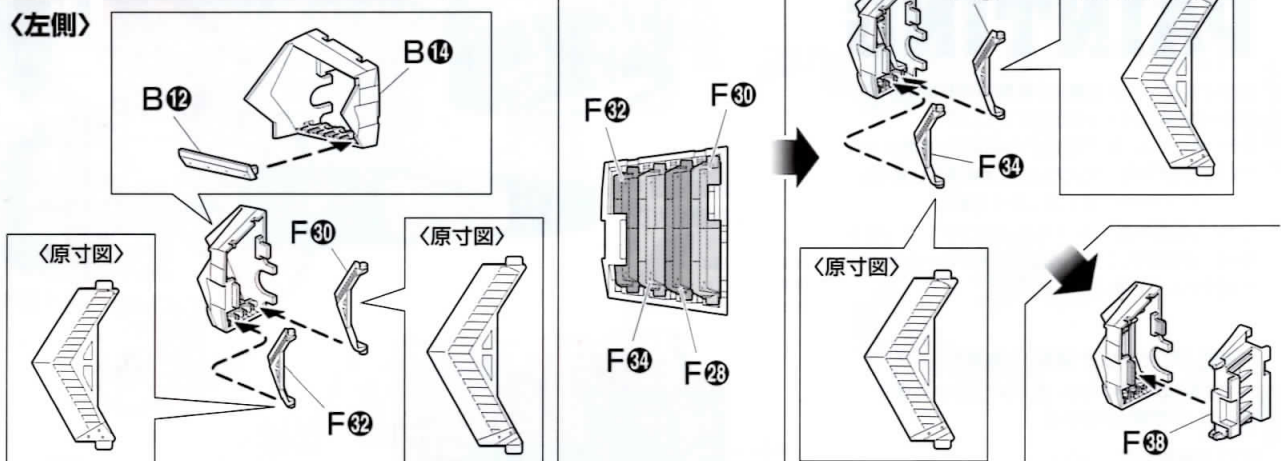
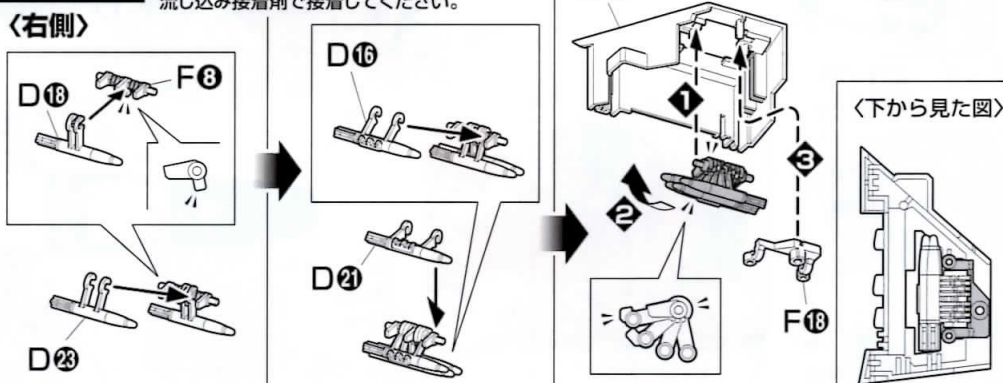
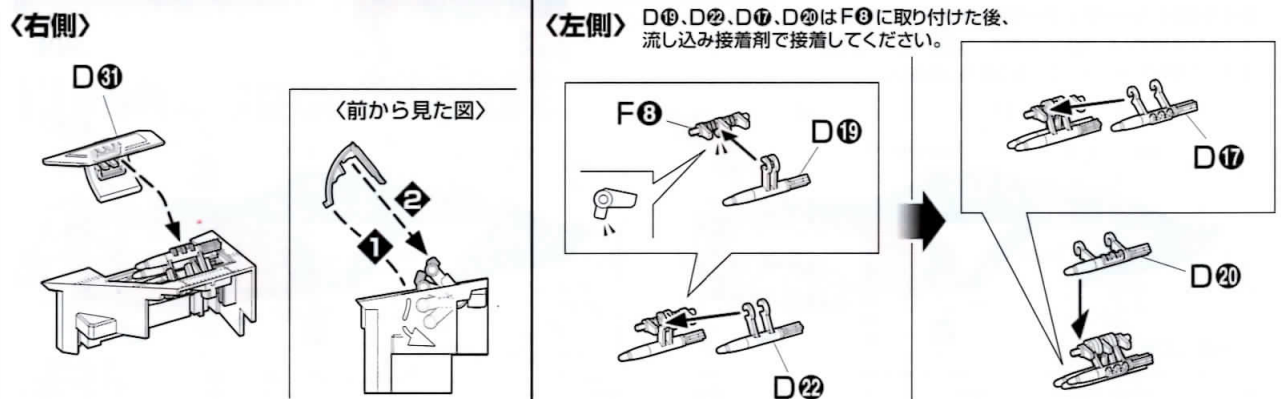
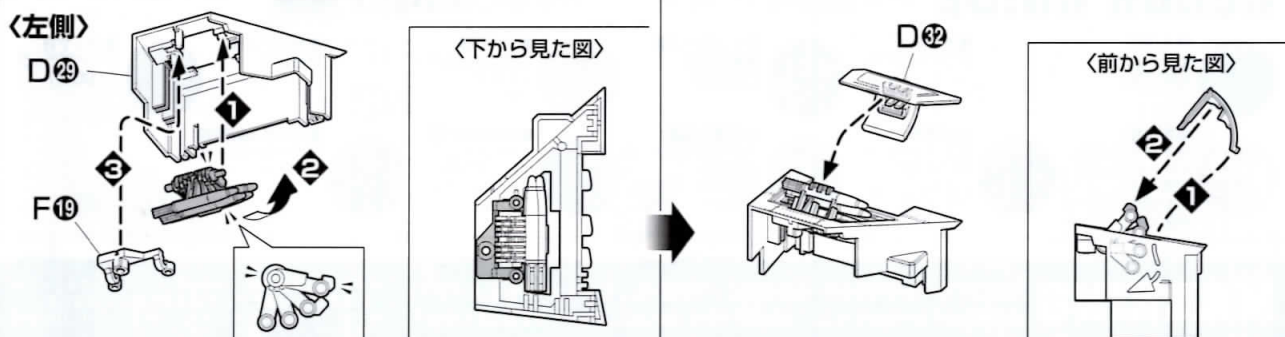
・接着します。　・接着しません。

〈パーツ番号について〉

・( ) 内の番号は、反対側のパーツです。

フィギュアの組み立て

※フィギュアの各パーツは、関連する部品との位置関係を調整しながら接着してください。
※フィギュアは写真を参考に組み立ててください。

※フィギュアに装備品を取り付ける場合は、接着部分にあるシワを削り、密着するように取り付けると、よりリアルになります。

01 計器類の組み立て

02 シートの組み立て
〈シート座面〉
A⓭
A❼
A❽
A❻
パチン
❶
❷
A❻
A❽ ※折らないように注意して取り付けてください。
〈パイロット（操縦姿勢）〉
G❻
G㉛
G❸
G❹
※頭部と腕部は、シート完成後に取り付けます。
〈計器類〉
A⓯
A⓰
※A⓯・A⓰の取り付け位置。
※シートが完成した後、G❶・G❷・G⓯を接着します。シートベルトを取り付けたい方は、好みに応じてカラー解説面最終ページに印刷されているベルト部を切り取り、イラストを参考に長さを調整して、瞬間接着剤等で接着してください。
G❶は手首を操縦桿にあわせ、G❷は手首をスロットルに合わせて固定してください。
G⓯
G❶
G❷
シートベルト
〈パイロットを乗せる場合〉
※ここでは、G❸・G❹・G❻・G㉛をシートの座面に接着するところまで組み立ててください。
※余ったGパーツは好みの場所に飾ってください。
03 コクピットの組み立て 1
A⓳
(A⓲)
※選択式です。
A⓮
A⓱
〈照準器展開時〉
A㉒
04 コクピットの組み立て 2
F㉒
F㉓
❷
❶
F⓬
F⓫
D❽
05 コクピットの組み立て 3
F⓯
❶
F⓮
❶
❷
D❾
F❾・F❿
❶
❷
D❿
06

06 機首の組み立て1
〈キャノピー〉
H❶
シール㋐
※きれいに
切り取ります。
※きれいに
切り取ります。
シール㋒
（シール㋑）
シール㋕
シール㋛
（シール㋚）
※きれいに切り取ります。
シール㋘
シール㋗
（シール㋖）
シール㋙
E❹
D⓬
07 機首の組み立て2
E❺
D⓭
D⓯
D⓮
08 機首の組み立て3
E⓬
E❾
E❸
※キャノピーの開閉は、
無理な力を加えないで
ください。

09 機首の組み立て 4

10 機首の完成

11 垂直尾翼の組み立て 1

12 垂直尾翼の組み立て 2

13 エアインテークの組み立て 1

14 エアインテークの組み立て2
〈左側〉
B⓬
B⓮
〈原寸図〉
F㉚
〈原寸図〉
F㉜
F㉚
F㉜
F㉞
F㉘
F㉘
〈原寸図〉
F㉞
〈原寸図〉
F㊳
15 内装ミサイルの組み立て1
D⓲、D㉓、D⓰、D㉑はF❽に取り付けた後、
流し込み接着剤で接着してください。
※図は左側のミサイルです。
AIM-79
SERNO 0000131
シリアルナンバー
ミサイル〈左側〉は上から
131、132、133、134
〈右側〉は上から
135、136、137、138
〈右側〉
D⓲
F❽
D㉓
D⓰
D㉑
D㉚
〈下から見た図〉
F⓲
16 内装ミサイルの組み立て2
〈右側〉
D㉛
〈前から見た図〉
17 内装ミサイルの組み立て3
〈左側〉
D⓳、D㉒、D⓱、D⓴はF❽に取り付けた後、
流し込み接着剤で接着してください。
F❽
D⓳
D㉒
D⓱
D⓴
18 内装ミサイルの組み立て4
〈左側〉
D㉙
F⓳
〈下から見た図〉
D㉜
〈前から見た図〉

MARKING

水転写デカールの貼り方

1. 使うデカールを切りとり、ぬるま湯に3秒程度浸し、ピンセットで引き上げます。
2. 台紙からデカールがすべるようになるまで待ち、表を上にしてすべらせて貼ってください。
3. 綿棒などで押して、気泡を取ってください。かわくまでは、手を触れないでください。

※デカールを貼る部分のキットパーツの油分を、あらかじめ中性洗剤などでふきとると一層よく密着します。
※デカールを貼るための道具(ハサミ、ピンセット、綿棒など)は、別にご用意ください。
※余ったデカールはお好みでご自由にお貼りください。

格納

展開

《コクピット》

《照準器》

尾翼

主翼

《灯火装置類》

※ポジションライトは、右の主翼は緑、左の主翼は赤、尾翼（機尾）はアンバー（裸電球の色）で塗装してください。

《メインノズル》

《尾翼エアブレーキ》

《車輪止め》

《コア・ブロック形態》

《コクピット内》

《前脚》

《主脚》

《機銃口》

《内装ミサイル》

《主翼パイロン&ミサイル》

※デカールを貼ってから変形させると、はがれる恐れがあります。

※説明書通りに組み立てた場合、この状態には、なりません。

FIGURE COLOR GUIDE

※フィギュアをよりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
塗装する場合は使用する塗料の使用上の注意に従い行ってください。
※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

《アムロ・レイ》

※パイロットも同様に貼りましょう。

●アムロ デッキクルー 肌色：
キャラクターフレッシュ(1)(100%)

●アムロ 髪：
ブラウン(100%)

●アムロ ノーマルスーツ ホワイト部：
ホワイト(100%)
+デイトナグリーン(極少量)
+スカイブルー(極少量)

●アムロ ノーマルスーツ ブーツ等ライトグリーン部：
ホワイト(95%)
+ルマングリーン(5%)
+スカイブルー(極少量)

●アムロ ノーマルスーツ ベルト等グレー部：
ホワイト(50%)
+スカイブルー(50%)
+パープル(極少量)

●アムロ セイラ ノーマルスーツ レッド部：
モンザレッド(100%)

●アムロ セイラ ノーマルスーツ ブラック部：
ブラック(100%)

《セイラ・マス》

●セイラ 肌色：
キャラクターフレッシュ(1)(50%)
+ホワイト(50%)
+ピンク(少量)

●セイラ 髪：
ホワイト(50%)
+イエロー(50%)

●セイラ ノーマルスーツ イエロー部：
黄橙色(100%)
+オレンジ(少量)
+ニュートラルグレー(極少量)

●セイラ ノーマルスーツ ブラウン部：
マホガニー(100%)

●セイラ ノーマルスーツ 脇、ヘルメット等ピンク部：
ピンク(100%)
+レッド(少量)

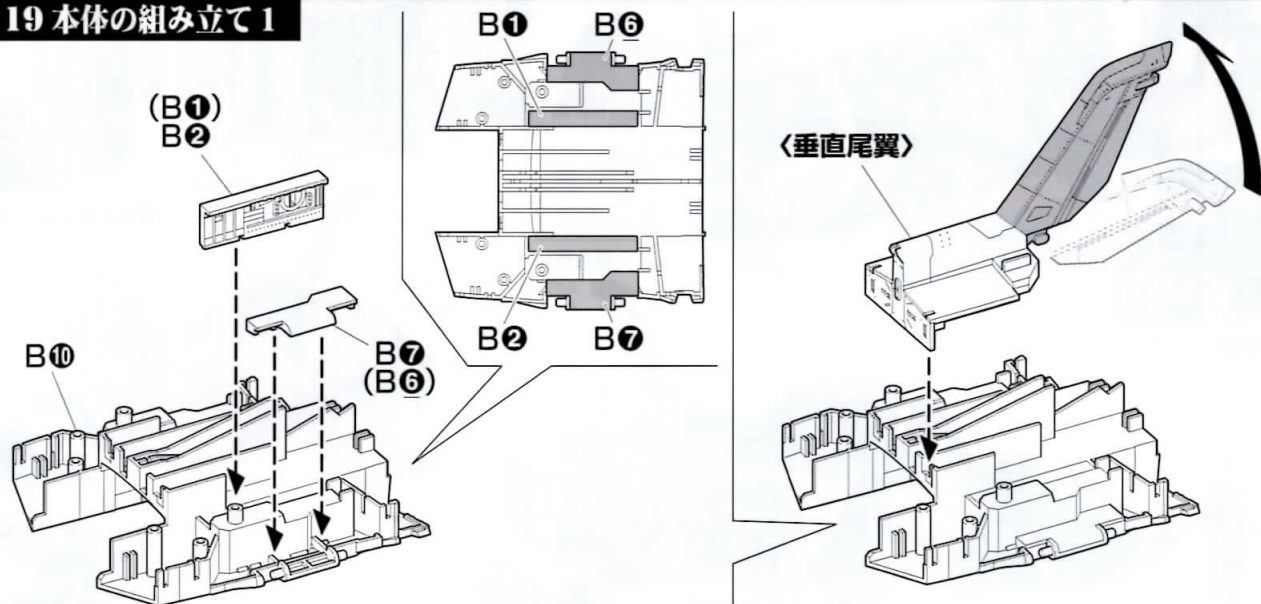
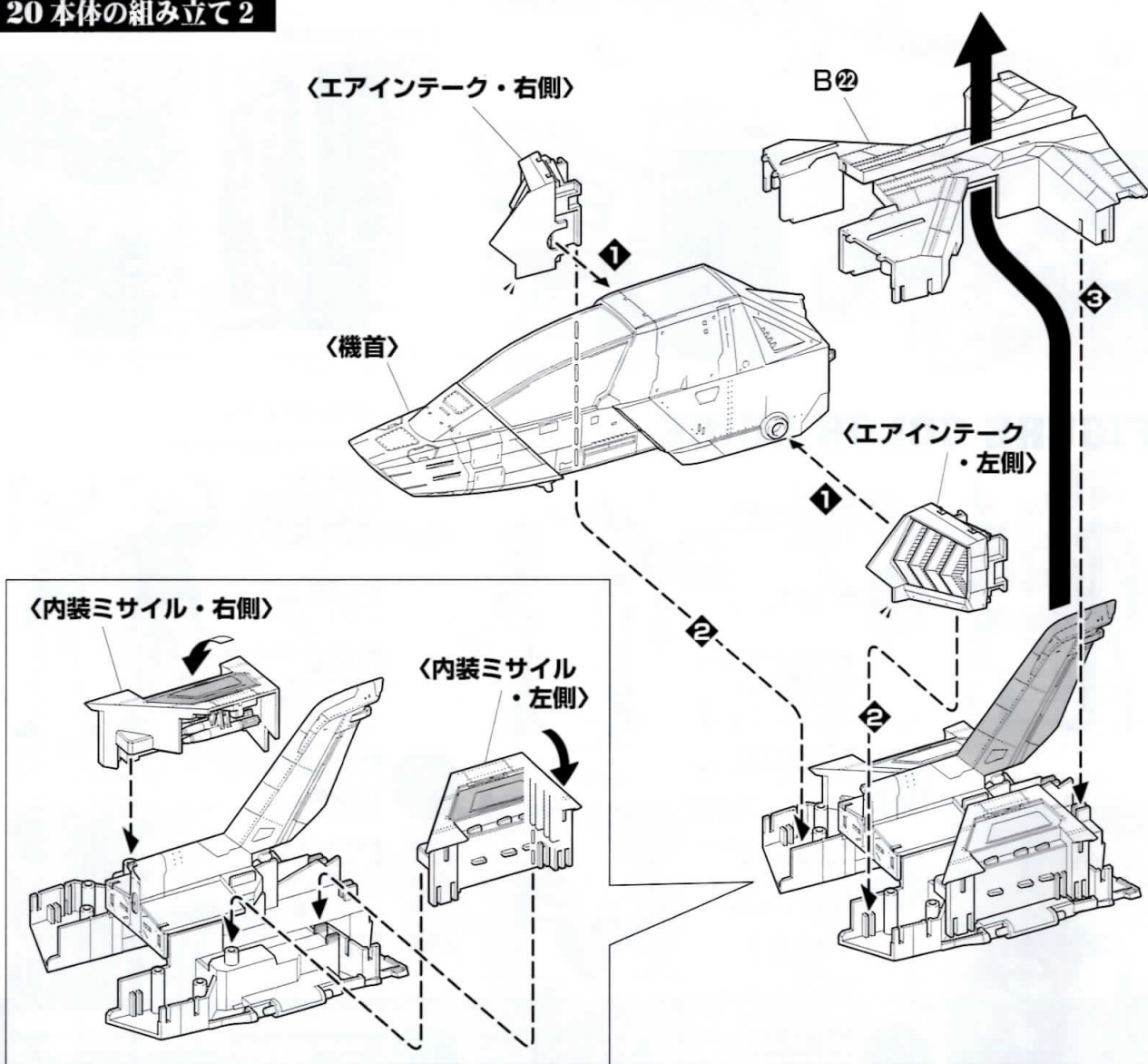
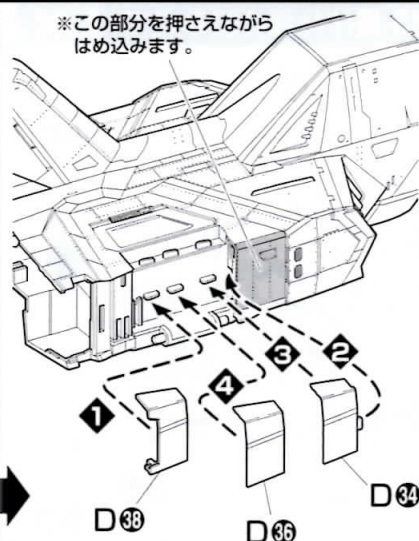
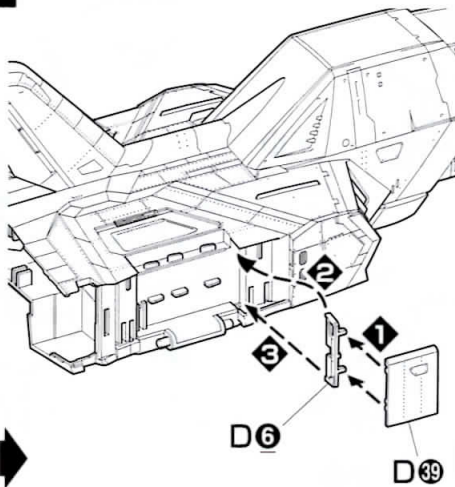
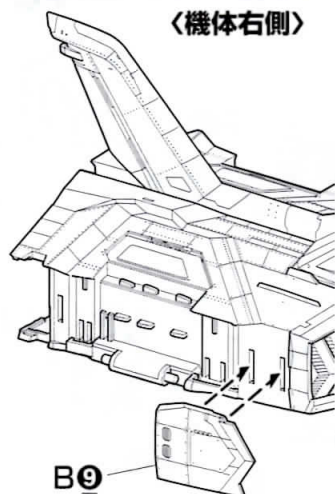
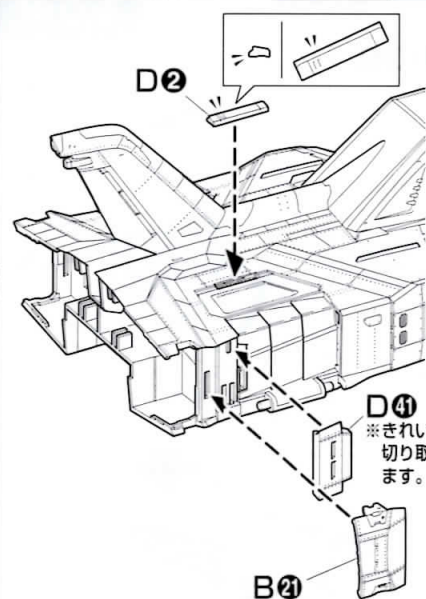
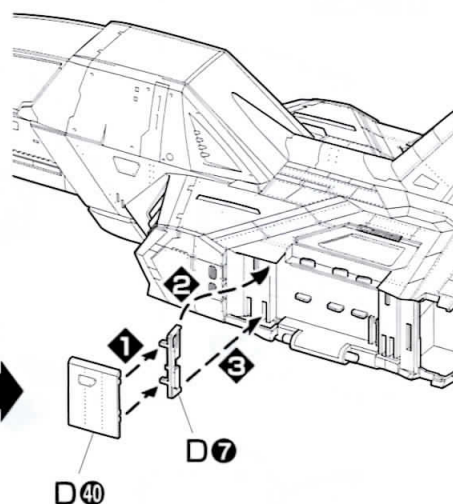
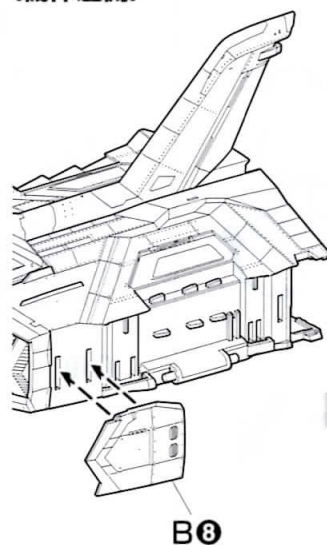
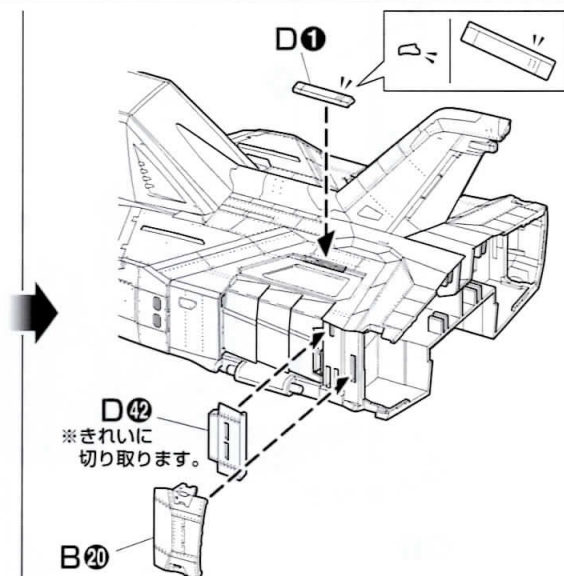
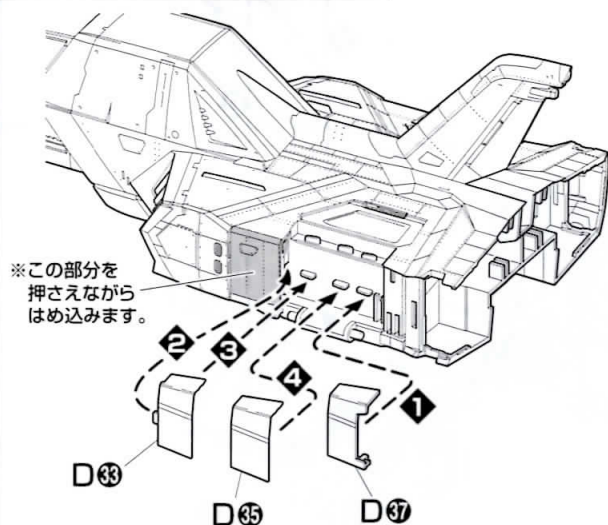
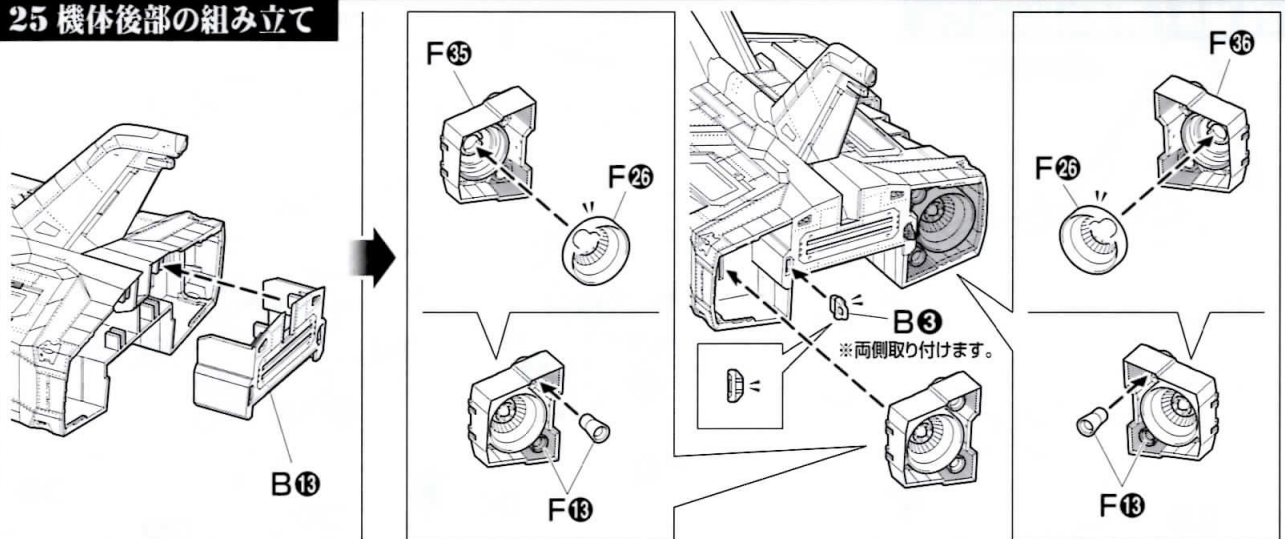
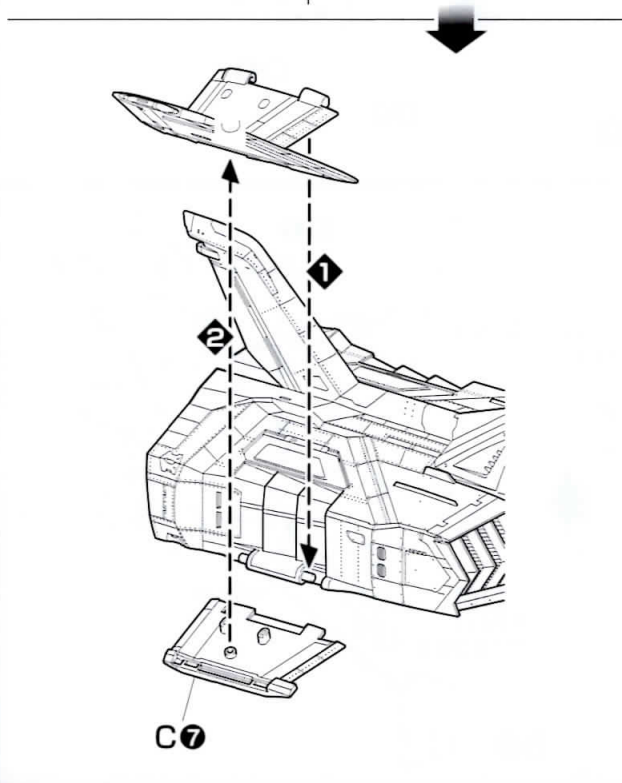
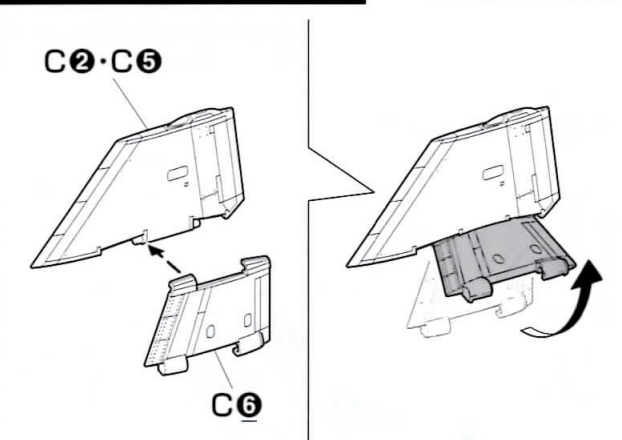
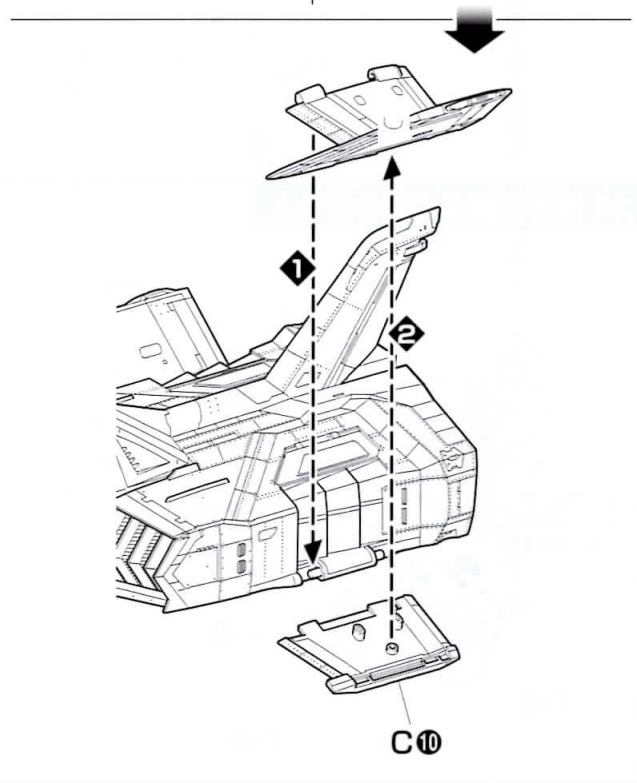
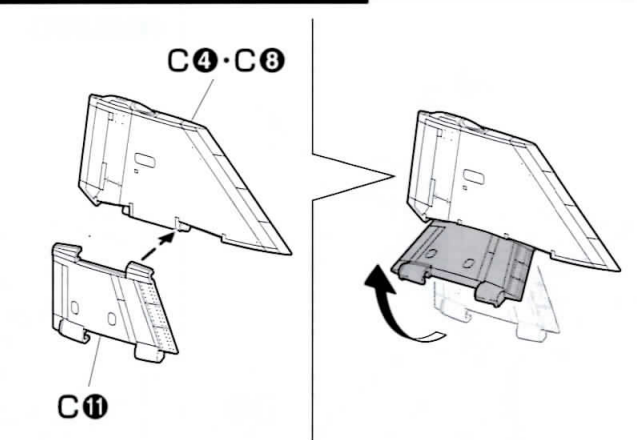
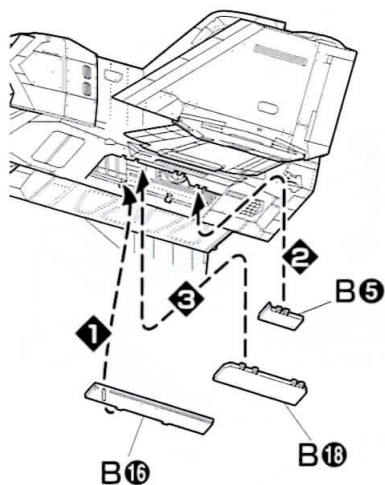
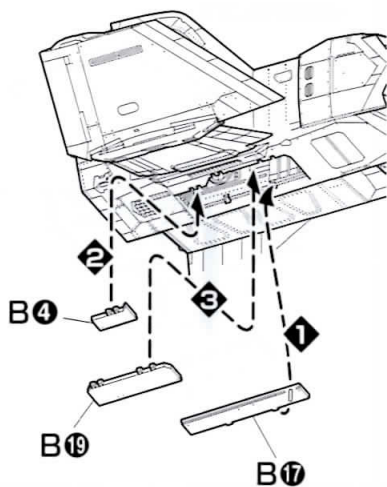
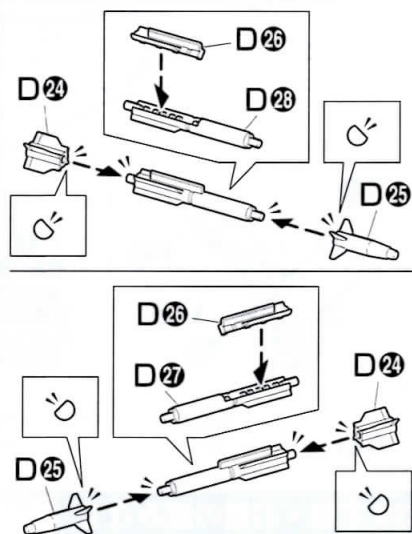
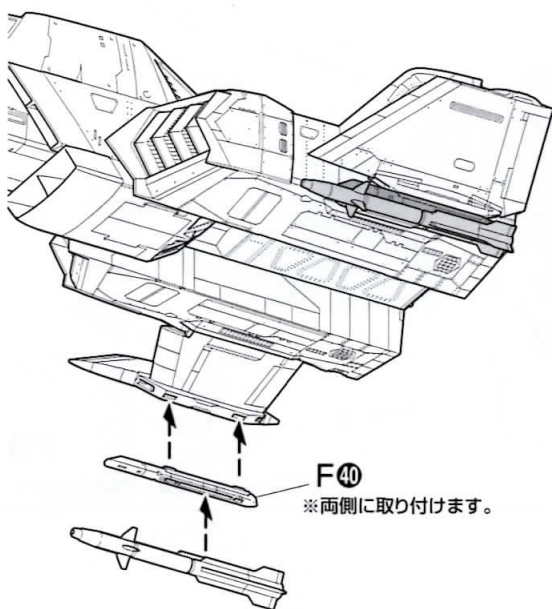
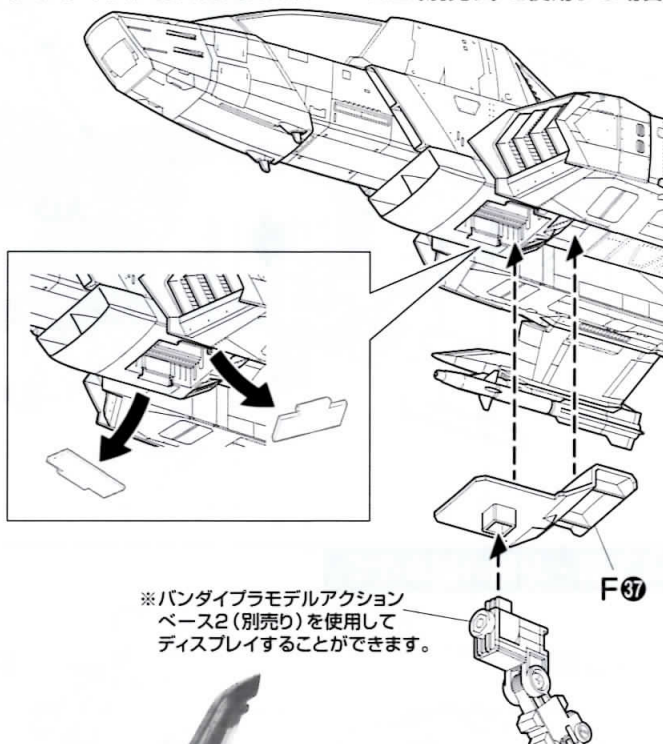
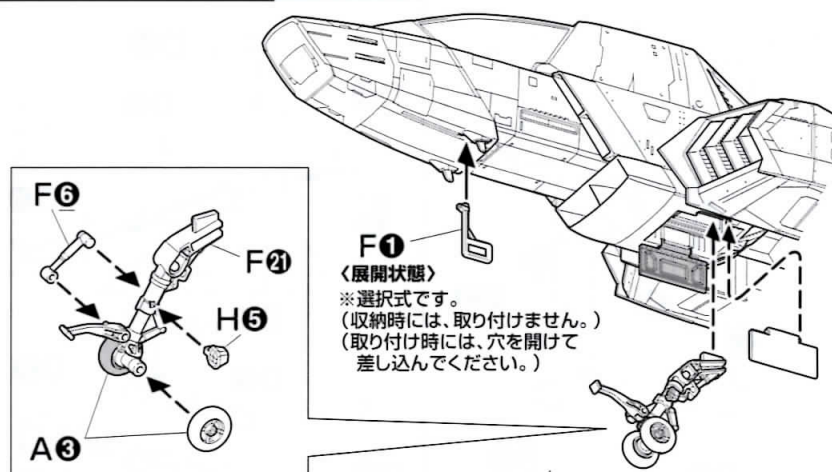
●デッキクルー タン部：
タン(80%)
+ホワイト(20%)
+レッド(少量)

●デッキクルー ベスト等グリーン部：
デイトナグリーン(100%)

《デッキクルー》

●デッキクルー 頭部等ライトグリーン部：
ルマングリーン(100%)

●写真の完成品は、塗装してあります。

19 本体の組み立て 1
(B❶)
B❷
B❼
(B❻)
B⑩
B❶
B❻
B❷
B❼
〈垂直尾翼〉
20 本体の組み立て 2
〈エアインテーク・右側〉
B㉒
〈機首〉
〈エアインテーク
・左側〉
〈内装ミサイル・右側〉
〈内装ミサイル
・左側〉

21 機体右側面の組み立て 1
〈機体右側〉
B⑨
D⑥
D㊴
※この部分を押さえながら
はめ込みます。
D㊳
D㊱
D㉞
22 機体右側面の組み立て 2
D②
D㊶
※きれいに
切り取り
ます。
B㉑
23 機体左側面の組み立て 1
〈機体左側〉
B⑧
D㊵
D⑦
24 機体左側面の組み立て 2
※この部分を
押さえながら
はめ込みます。
D㉝
D㉟
D㊲
D①
D㊷
※きれいに
切り取ります。
B⑳

25 機体後部の組み立て

26 右ウイングの組み立て

27 左ウイングの組み立て

28 後部格納扉の組み立て
B❹
B⓳
B⓱
B⓰
B❺
B⓲
29 ミサイルの組み立て
D㉖
D㉔
D㉘
D㉕
D㉗
30 完成
F㊵
※両側に取り付けます。
〈バンダイプラモデルアクションベース2（別売り）を使用する場合〉
F㊲
※バンダイプラモデルアクションベース2（別売り）を使用してディスプレイすることができます。
WB 102
002
※写真の完成品は塗装してあります。

31 前脚の組み立て
F❻
F㉑
H❺
A❸
F❶
〈展開状態〉
※選択式です。
（収納時には、取り付けません。）
（取り付け時には、穴を開けて
差し込んでください。）
32 主脚の組み立て
※両側取り外します。
33 主脚・右側の組み立て
F❷
F㉔
A❹
F❺
〈下から見た図〉
F❺
※F❺の位置を調整して取り付けます。
34 主脚・左側の組み立て
F❸
F㉕
A❹
F❹
〈下から見た図〉
F❹
※F❹の位置を調整して取り付けます。

35 駐機状態

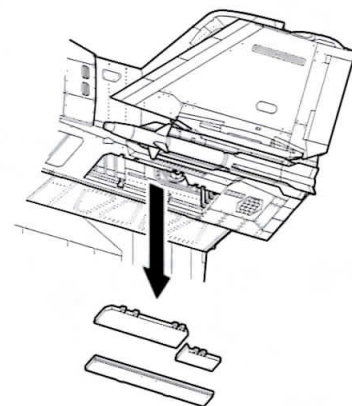
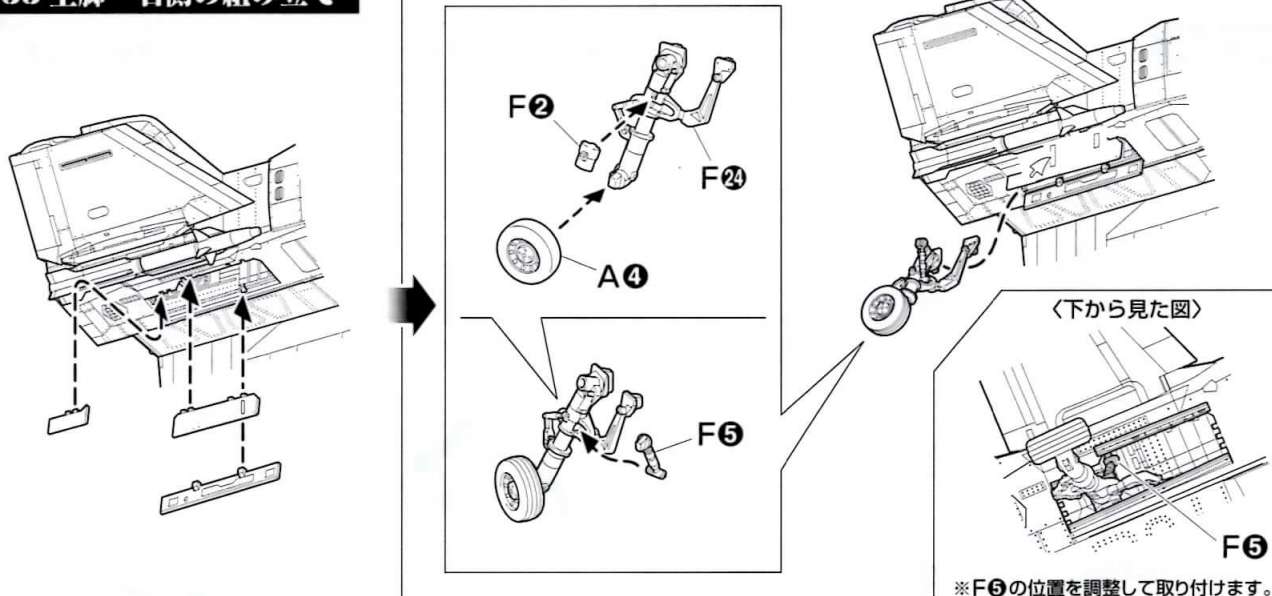
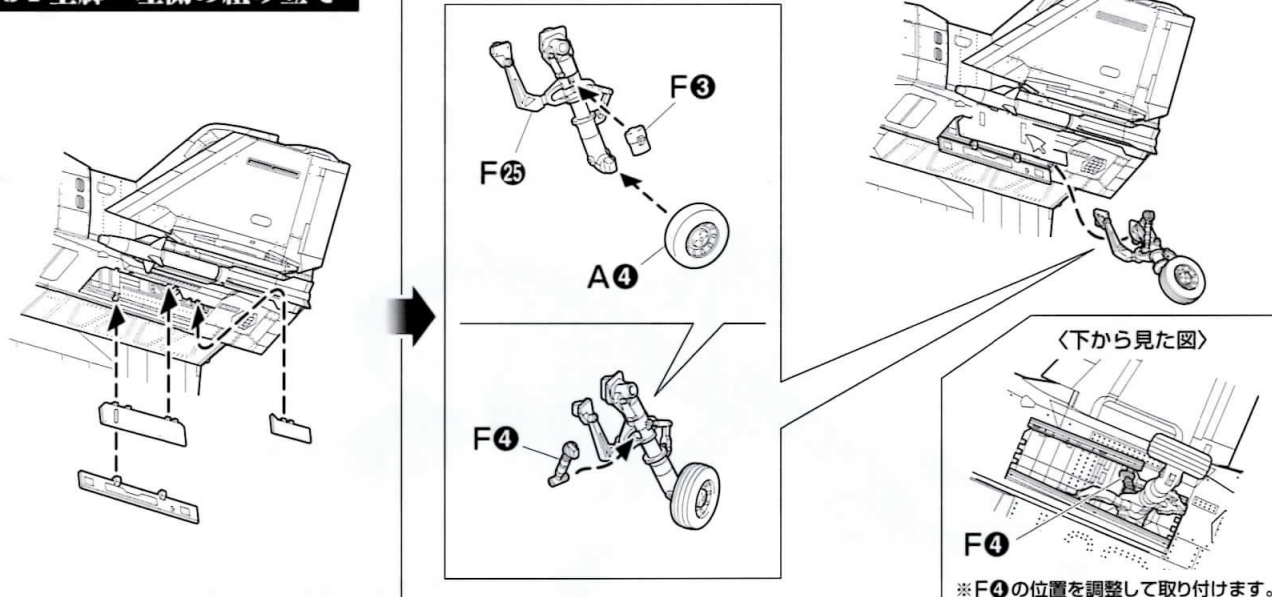
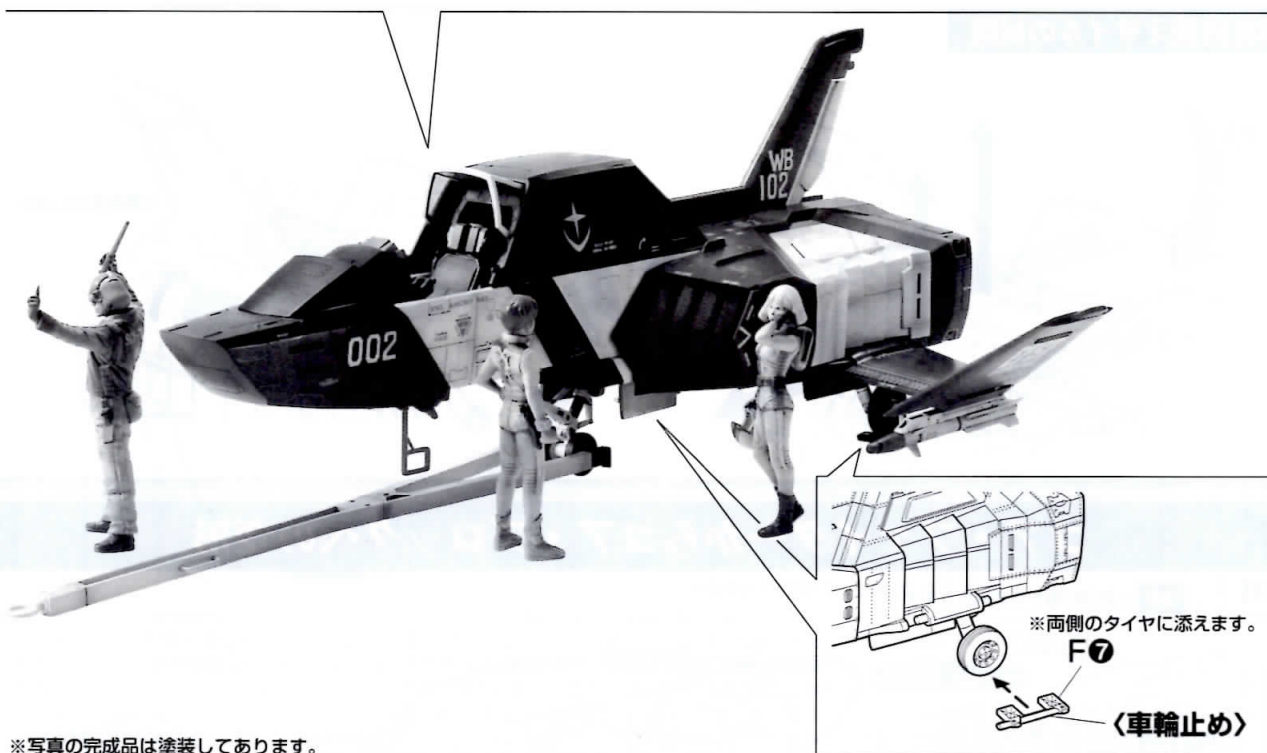
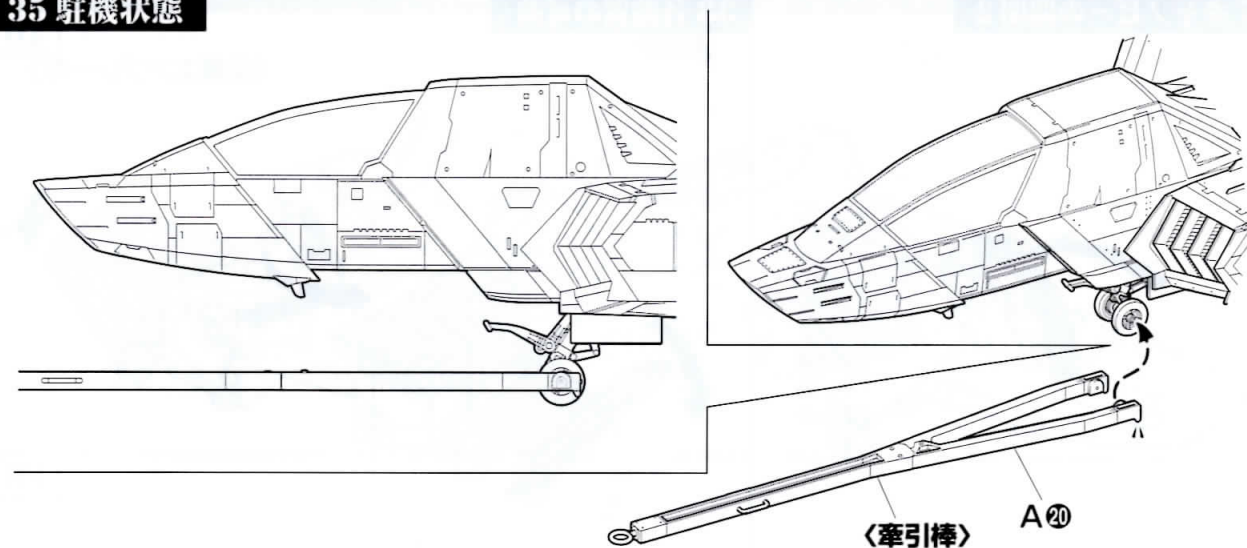
〈牽引棒〉

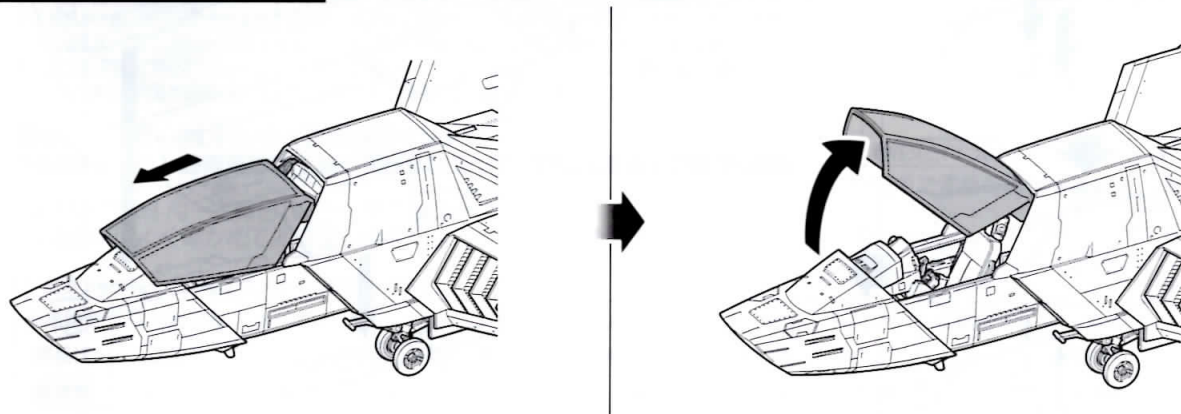
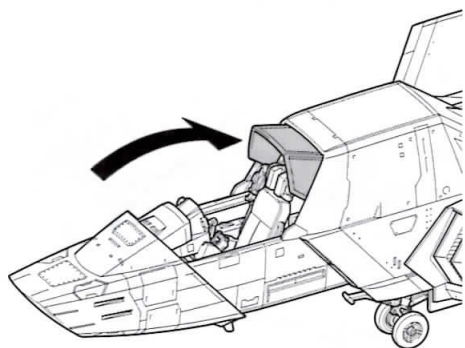
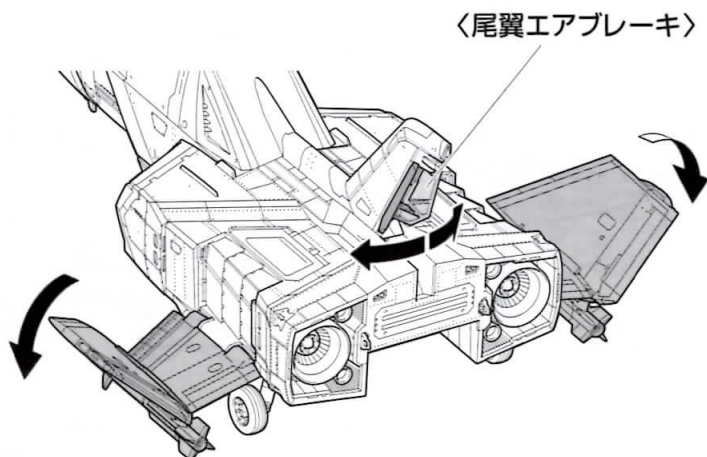
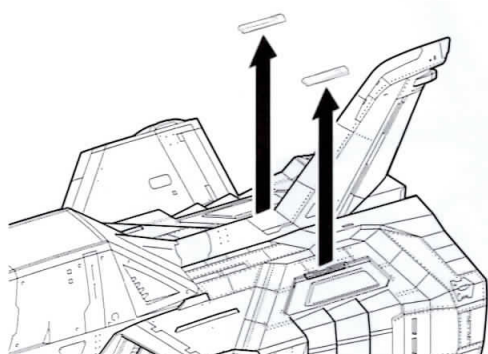
A⑳

※両側のタイヤに添えます。

F❼

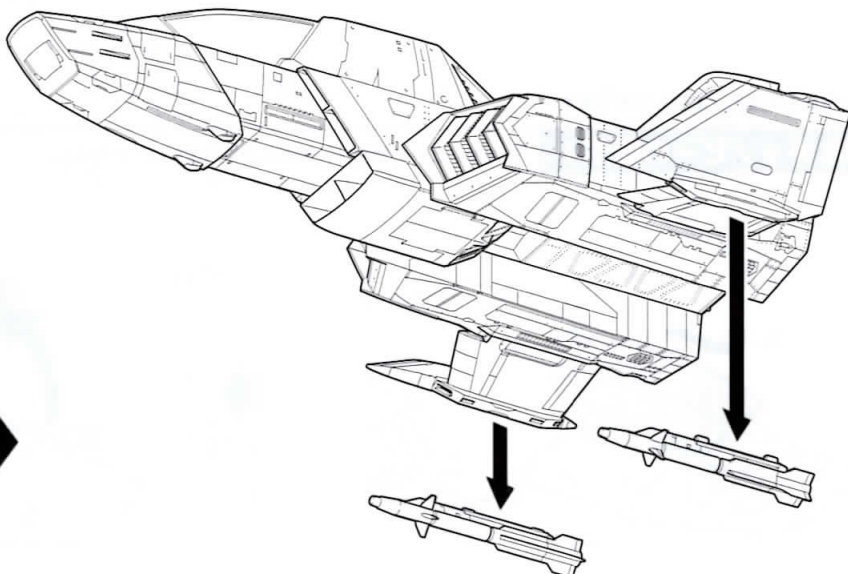
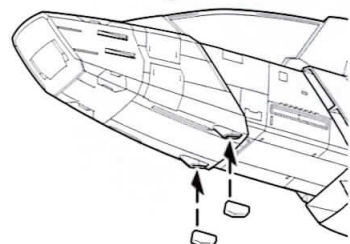
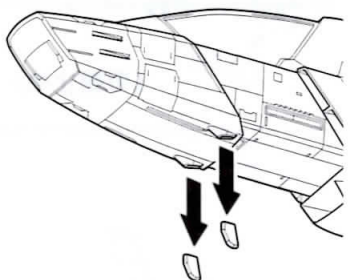
〈車輪止め〉

※写真の完成品は塗装してあります。

36 キャノピーの開閉 1

※キャノピーの開閉は、無理な力を加えないでください。

37 キャノピーの開閉 2

38 各動翼の可動

39 内装ミサイルの展開

コア・ファイターからコア・ブロックへの変形

01 ※ **30** の完成状態から変形させます。

02

03

※コア・ファイターに戻すときは、❷の矢印とは逆の方向に押し込むと、垂直尾翼が自動的に上がってきます。

《お買い上げのお客様へ》部品をこわしたり、なくした時は、「部品注文カード」に必要な部品の記号／数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき、封書（**裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。**）にて下記までお申し込みください。なお、やむをえず部品注文カードをご使用できない場合には発送が遅れる場合がございます。ご了承ください。又、部品注文カードはコピー（拡大含む）での使用も可能です。代金は、料金表通りです。定額小為替は無記入（白紙）で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じるときがあります。部品発送の際に表記額を超える時は不足分を請求、表記額未満の時には残額をお返しいたします。また、在庫がない場合には注文をお断りする場合がございます。その際は、お送り頂きました代金（為替）を返送いたします。但し、それ以外に掛かった手数料等は、お客様負担になりますので、ご了承の程、何卒よろしくお願い致します。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。ご記入頂きました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用いたしません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくはhttp://bandai-hobby.netより▶お客様へ▶相談センターのお知らせ▶「■部品が必要になったらこちらのページをご覧ください。」をご参照ください。

■申し込み先　(株)バンダイ静岡相談センター
〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12　TEL 054-208-7520

・電話受付時間 月～金曜日（祝日を除く）10時～16時
・電話番号はよく確かめてお間違いのないようにご注意ください。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード　0167077
1/35 SCALE　U.C.HARD GRAPH
No.7 **地球連邦軍 多目的軽戦闘機**
FF-X7 コア・ファイター

必要な部品の記号・数量をかく

●注文された理由（○で囲む）（こわした・なくした）

・日中ご連絡可能な電話番号　・**年齢**
（　　-　　-　　）（　　才）
R2127395　'11.02

2011.02/T・TO

※コピー使用可

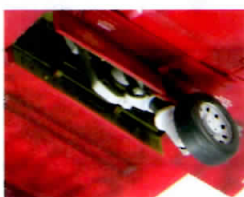
《料金表》●部品代、送料はランナー1枚の料金です。

部品番号	取扱説明書	Aパーツ	Bパーツ	C・Eパーツ	D・Fパーツ	Gパーツ	Hパーツ	水転写デカール、ホイルシールセット
部品代	150円	500円	1000円	各600円	各1200円	800円	400円	800円
郵送料	200円	140円	240円	200円	240円	200円	120円	80円

PRO MODELER "REAL ADVICE"

**本商品の完成品製作を担当したビークラフトから生のアドバイスを入手!!
これらを参考にしつつさらにいろんな楽しみ方に挑戦してほしい。**

細部の塗りわけでポイントになってくるのが、ランディングギア格納庫周辺です。内部、ランディングギア、タイヤそれぞれを丁寧に塗りわけ、エナメル系塗料でスミ入れを施しました。エナメル系塗料のスミ入れは、塗料の流れ込みの偶然性が汚れにも見え、一石二鳥です。ハッチ断面は整備士に注意を促すために、実際の戦闘機でも断面が赤く塗装されています。こういった部分に実機との共通項を当てはめるのも、ハードグラフの楽しみの一つです。また、機関砲の周辺やエンジン部の焼けなどの汚し塗装も実機の写真を参考にしています。

機体表面にあるスジ彫りはガンダムマーカーのリアルタッチマーカーにてスミ入れしました。塗装面に対しては、マーカーインクが完全に乾いてしまうと拭いにくくなってしまいますので、小範囲に対し、スミ入れ⇒指の腹で拭い取る⇒ぼかしペンで調整を繰り返しました。広い面にあるスジ彫りは、これでスピーディーに進められます。指先やペンの届かない奥まった部分には、エナメル系塗料でスミ入れを施しました。

大量にあるマーキングデカールは、大判のものを先にレイアウトし、徐々に細かなものを貼っていく方が完成のイメージが湧きやすいでしょう。一度に複数を台紙からカットしてしまうと混乱するので注意してください。マーキングデカールにはマークセッターを使用しました。特にコンソールパネルやフィギュアの瞳の凹凸の大きなパーツは、そのままでは貼ることが困難です。マークセッターはデカールを軟化させ表面になじませやすくし、密着度を高めます。しかしマークセッターを使用しても、触っていると剥離する恐れがあります。機体表面は変形を考慮して水性トップコートを吹き付け保護してあげると安心です。今回は全塗装していますが、機体外装は成型色を生かし、細部の塗りわけと汚し塗装で仕上げるのも良いと思います。フィギュアなども細かく塗り分け、情報を追加すれば、パッケージアートのような世界観を作り上げられることでしょう。

●写真の完成品は、塗装してあります。

VARIATION

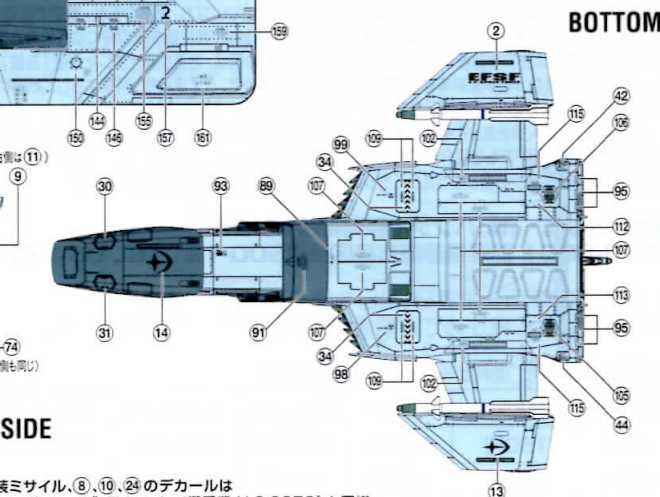
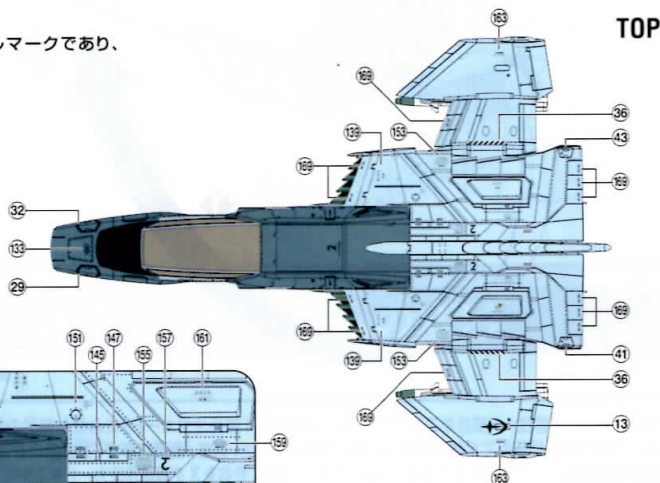
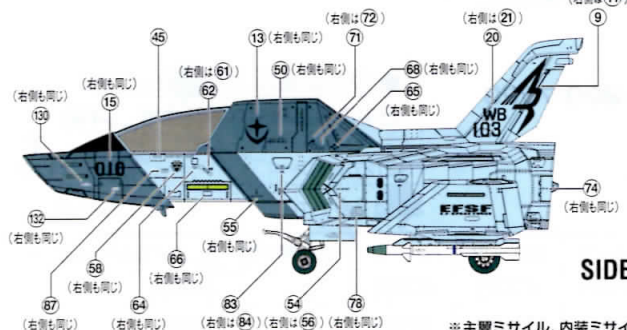
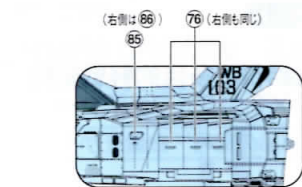
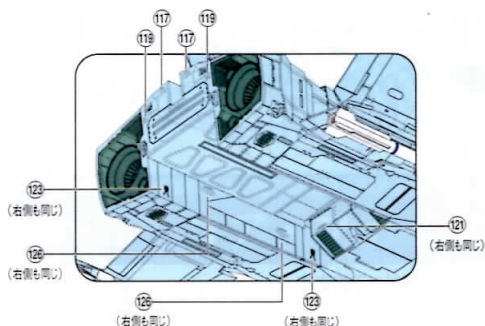
《RX-78-3 G-3 用コア・ファイター》

"RX-78-3 G-3ガンダム"用コア・ファイターのマーキングである。
このアムロ・レイ少尉搭乗機は、厳重な軍事機密のベールに包まれていた。
垂直尾翼のマーキングは、所属部隊マークではなく、搭乗員のパーソナルマークであり、そのイニシャルをもじったものと推察される。

●本体等:
ミッドナイトブルー(50%)
+ホワイト(40%)
+パープル(10%)

●本体等:
エアスペリオリティーブルー(60%)
+ホワイト(40%)

TOP

BOTTOM

SIDE

※主翼ミサイル、内装ミサイル、⑧、⑩、㉔のデカールは《第13独立戦隊 "ホワイトベース" アムロ・レイ搭乗機 U.C.0079》と同様